

事業報告書

令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

1. 農作物共済関係

(引 受)

項目 区分		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
水 稲		人 (実) 7,485	a 959,513.6	kg 36,713,537	円 7,189,545,288	円 9,608,928	円	円
内 訳	半 相 殺	5,445	713,057.6	26,990,317	5,163,824,190	5,059,933		
	全 相 殺	1,529	181,865.1	7,432,884	1,448,555,620	3,986,171		
	地域インデックス	481	49,735.0	2,290,336	457,480,723	205,658		
	品 質	51	14,855.9		119,684,755	357,166		
麦(6年産)		(実) 220	169,966.8	10,002	568,239,541	24,339,346		
内 訳	半 相 殺	3	612.8	10,002	799,633	27,422		
	災害収入	217	169,354.0		567,439,908	24,311,924		
計		(延) 7,726 (実) 7,705	1,129,480.4	36,723,539	7,757,784,829	33,948,274	19,023,362	52,971,636
麦(7年産)		(実) 207	156,059.9	4,215	462,339,105	7,179,511		
内 訳	半 相 殺	1	351.0	4,215	113,805	3,228		
	災害収入	206	155,708.9		462,225,300	7,176,283		

水 稲 ○ 前年対比：引受面積 92.7%

○ 引受概況：令和6年産水稻の引受けは、前年に比べ751ha減少した。共済金額は引受面積の減少により、898,374千円減少した。

収入保険移行による減少は11戸、490haとなった。

引受方式別の加入割合（組合員数）は、半相殺方式72.5%、全相殺方式20.4%、地域インデックス方式6.4%、品質方式0.7%となった。

麦 ○ 前年対比：引受面積 91.8%

○ 引受概況：令和7年産麦の引受けは、収入保険移行等により前年に比べ13戸、139ha減少し、共済金額は105,900千円減少した。

品種は、大麦はファイバースノウ・はねうまもち、小麦は県大3号となった。

(被 害)

項目 区分		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	生産金額減少額	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$	備 考
水 稻		人 438	a 32,858.5	kg 173,796	円 717,551	円 30,980,506	% 0.43	
内 訳	半 相 殺	132	4,816.1	70,477		13,143,805	0.25	
	全 相 殺	292	25,423.5	86,932		16,697,050	1.15	
	地域インデックス	8	173.8	2,193		422,100	0.09	
	品 質	6	2,445.1	14,194	717,551	717,551	0.60	
麦		167	138,169.5	1,274,958	92,515,762	92,551,617	16.29	
内 訳	半 相 殺	1	196.6	1,446		41,934	5.24	
	災害収入	166	137,972.9	1,273,512	92,515,762	92,509,683	16.30	
計		(延) 605	171,028.0	1,448,754	93,233,313	123,532,123	1.59	

水 稻 ○ 被害概況：6月23日の大雨により、嶺北の一部地域で浸水の被害が発生した。また、8月上旬からの高温少雨の影響により干害が発生した。
嶺北の一部地域において、ウンカ類による虫害が発生した。また、県内全域の山間地域でイノシシ・シカによる食害及び倒伏被害が発生した。

麦 ○ 被害概況：11月上旬～中旬にかけて、低気圧の影響により降水量が多く、圃場が湿潤状態となり生育不良となった。
暖冬の影響により茎数が過剰となり、出穂期の葉色が淡く収量が低下した。
中山間地の一部の圃場でシカによる食害を受けた。

(支 払)

項目 保険区分			支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共済金}}$
					保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
第 1	水 稻	半 相 殺	令和 年 月 日 R6. 12. 19	円 13,143,805	円 /	円 /	円 /	円 /	円 /	% /
		全 相 殺	R7. 2. 28	16,697,050						
		地域インデックス	R7. 2. 28	422,100						
	麦	半 相 殺	R6. 10. 3	41,934						
	計			30,304,889						
第 2	水稻	品 質	R7. 2. 28	717,551						
第 3	麦	災害収入	R6. 10. 28	92,509,683						
計				123,532,123	45,663,548	52,971,636	24,896,939	-	-	100.0

2. 家畜共済関係
(引 受)

項目 区分		有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
死 廃 共 済	搾 乳 牛	頭 730	頭 730	頭 788	% 107. 9	円 143, 730, 850	円 5, 917, 377	円	円
	育 成 乳 牛 (子牛等)	410	410 (60)	392 (56)	95. 6	51, 060, 750	444, 527		
	繁殖用雌牛	210	210	131	62. 4	20, 264, 800	97, 156		
	育成・肥育牛 (子牛等)	3, 030	3, 030 (300)	2, 454 (300)	81. 0	531, 248, 250	4, 119, 208		
	種 豚	300	300	308	102. 7	6, 875, 600	34, 447		
	肉 豚	1, 630	1, 630	2, 237	137. 2	14, 316, 800	3, 866		
	計	6, 310	6, 310	6, 310	100. 0	767, 497, 050	10, 616, 581	10, 595, 662	21, 212, 243
疾 病 傷 害 共 済	乳 用 牛	710	710	755	106. 3	13, 840, 000	4, 137, 465	円	円
	肉 用 牛	1, 950	1, 950	1, 466	75. 2	13, 255, 584	3, 978, 900		
	種 豚	130	130	218	167. 7	10, 000	6, 000		
	計	2, 790	2, 790	2, 439	87. 4	27, 105, 584	8, 122, 365	8, 116, 450	16, 238, 815
合 計		9, 100	9, 100	8, 749	96. 1	794, 602, 634	18, 738, 946	18, 712, 112	37, 451, 058
期 末 調 整				6		4, 885, 550	613, 009	530, 572	1, 143, 581
合 計				8, 755		799, 488, 184	19, 351, 955	19, 242, 684	38, 594, 639

- 前年対比：引受頭数 102. 3%
- 引受概況：乳牛で1戸新規就農、肉牛で1戸が廃業した。
共済金額は1, 683千円増加し、前年対比100. 2%となった。

(事 故)

項目 区分		死 廃 共 済				疾病傷害共済		
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金	件数		支払共済金
		頭	頭	頭	円	乳用牛	件	円
搾 乳 牛		48	58	106	13, 097, 366		939	9, 163, 346
育 成 乳 牛 (子牛等)		25 (23)	1 (1)	26 (24)	496, 554		(うち 子牛等 72件	816, 075円)
繁殖用雌牛		3	1	4	537, 648	肉用牛	927	9, 270, 892
育成・肥育牛 (子牛等)		45 (38)	10	55 (38)	5, 132, 796		(うち 子牛等 382件	3, 875, 835円)
種 豚		2	1	3	50, 530	1		3, 123
肉 豚		-	-	-	-	-		-
計		123	71	194	19, 314, 894	1, 867		18, 437, 361
期 末 調 整		3	-	3	403, 954			
合 計		129	71	197	19, 718, 848			

○ 事故概況：共済金は37,752千円（前年対比97.8%）、死廃事故19,315千円（前年対比87.7%）、病傷事故18,437千円（前年対比111.2%）となった。

(支 払)

区分	項目	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
	実支払共済金	保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
家 畜	円 37,752,255	円 -	円 37,752,255	円 -	円 -	円 -	% 100.0
期末調整	403,954	-	403,954	-	-	-	
合 計	38,156,209	-	38,156,209	-	-	-	

(家畜診療所)

職員数	管 内		診療件数		摘 要
	有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	
人 3	頭 2,790	頭 2,439	頭 1,187	頭 2,113	

3. 果樹共済関係

(引 受)

区分 \ 項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
6 年 産	ぶどう	人	a	kg	円	円	円	円
	内訳 半相殺一般	6	95.3	10,660	12,859,000	55,423		
	な し	59	1,998.8	321,023	58,364,000	1,094,226		
	内訳 半相殺一般	32	1,118.0	162,554	29,768,000	607,759		
	内訳 半相殺短縮	3	65.5	8,133	1,489,000	20,510		
	内訳 全相殺	23	805.3	150,336	26,695,000	458,489		
	内訳 災害収入	1	10.0		412,000	7,468		
	か き	45	1,232.1	157,676	12,338,000	229,090		
	内訳 全相殺	45	1,232.1	157,676	12,338,000	229,090		
	う め	73	3,822.9	151,500	52,392,000	2,200,547		
	内訳 全相殺	64	3,115.9	151,500	36,106,000	1,472,712		
	内訳 災害収入	9	707.0		16,286,000	727,835		
計		(延)183(実)179	7,149.1	640,859	135,953,000	3,579,286	879,954	4,459,240
7 年 産	ぶどう	6	102.5	10,955	14,224,000	59,390		
	内訳 半相殺一般	6	102.5	10,955	14,224,000	59,390		
	な し	59	1,867.0	276,089	51,622,000	975,465		
	内訳 半相殺一般	34	1,049.5	133,156	25,288,000	507,542		
	内訳 半相殺短縮	2	24.1	3,361	637,000	12,402		
	内訳 全相殺	22	784.6	139,572	25,329,000	449,122		
	内訳 災害収入	1	8.8		368,000	6,399		
	か き	44	1,219.5	148,992	12,666,000	240,845		
	内訳 全相殺	44	1,219.5	148,992	12,666,000	240,845		
	う め	65	3,183.1	121,008	35,165,000	1,450,363		
	内訳 全相殺	57	2,666.4	121,008	25,808,000	984,636		
	内訳 災害収入	8	516.7		9,357,000	465,727		
計		(延)174(実)170	6,372.1	557,044	113,677,000	2,726,063	647,247	3,373,310

△：納入保険料

- ぶどう ○ 前年対比：引受面積 107.6% ○ 引受概況：令和7年産ぶどうの引受けは、前年より0.1ha増加した。共済金額は1,365千円増加となった。
- な し ○ 前年対比：引受面積 93.4% ○ 引受概況：令和7年産なしの引受けは、前年より1.3ha減少した。共済金額は6,742千円減少となった。
収入保険への移行は2戸、1.2haとなった。
- か き ○ 前年対比：引受面積 99.0% ○ 引受概況：令和7年産かきの引受けは、前年より1戸、0.1ha減少した。共済金額は328千円増加となった。
- う め ○ 前年対比：引受面積 83.3% ○ 引受概況：令和7年産うめの引受けは、前年より8戸、6.4ha減少した。共済金額は17,227千円減少となった。
収入保険への移行は6戸、5.3haとなった。

(被 害)

項目 区分		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	共済金	共 済 金 共済金額	備 考
ぶどう		人	a	kg	円	%	
内訳		-	-	-	-	-	
な し		45	971.8	65,086	6,919,975	11.86	
内 訳	半相殺一般	25	565.6	33,281	3,165,390	10.63	
	半相殺短縮	3	58.6	3,434	306,150	20.56	
	全 相 殺	16	337.6	27,862	3,416,150	12.80	
	災 害 収 入	1	10.0	509	32,285	7.84	
か き		6	119.1	7,994	423,100	3.43	
内訳		6	119.1	7,994	423,100	3.43	
う め		68	3,624.3	138,250	25,903,809	49.44	
内 訳	全 相 殺	59	2,917.3	98,485	20,672,870	57.26	
	災 害 収 入	9	707.0	39,765	5,230,939	32.12	
計		119	4,715.2	211,330	33,246,884	24.45	

ぶどう ○ 被害概況：特になし。

な し ○ 被害概況：6月下旬から7月下旬の梅雨の影響により黒星病が発生した。

6月中旬からカメムシによる吸汁被害が発生した。また8月下旬より夜蛾による吸汁被害が発生した。

7月下旬よりカラスによる食害が発生した。

か き ○ 被害概況：8月上旬からカメムシによる吸汁被害の発生が発生した。7月下旬以降の高温少雨による日焼け果が発生した。

う め ○ 被害概況：前年8月の高温及び前年の暖冬による不完全花の増加、また開花期である3月上旬の低温による結実不良となり大きな被害となった。

(支 払)

項目 保険区分		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
第 1	ぶどう半相殺一般	令和 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
	なし 半相殺一般	—	—						
	なし 半相殺短縮	R6. 12. 19	3,165,390						
	なし 全 相 殺	R6. 12. 19	306,150						
	かき 全 相 殺	R6. 12. 19	3,416,150						
	うめ 全 相 殺	R7. 2. 7	423,100						
	計	R6. 9. 27	20,672,870						
第 2	うめ 災害収入	R6. 9. 27	27,983,660						
第 3	なし 災害収入	R6. 9. 27	5,230,939						
	計	R6. 12. 19	32,285						
計			33,246,884	25,914,079	4,459,240	2,873,565	-	-	100.0

(引 受)

大豆 ○ 前年対比：引受面積 84.3%
○ 引受概況：令和6年産大豆の引受けは、収入保険移行により前年に比べ11戸、83ha減少した。
共済金額は引受収量の減少により35,462千円減少した。

そば ○ 前年対比：引受面積 102.7%
○ 引受概況：令和6年産そばの引受けは、そば作付の増加により前年に比べ5戸、24ha増加した。
共済金額は引受収量の増加により13,291千円増加した。

(被 害)

項目 区分		被害組合員数	支払対象面積	共済減収量	共済金	共 済 金 共済金額	備 考
大 豆		人 40	a 34, 111. 5	kg 117, 663	円 20, 164, 455	% 23. 90	
内 訳	全 相 殺	40	34, 111. 5	117, 663	20, 164, 455	23. 90	
そ ば		71	17, 401. 4	13, 718	3, 020, 718	3. 95	
内 訳	全相殺(夏そば)	-	-	-	-	-	
	全相殺(秋そば)	71	17, 401. 4	13, 718	3, 020, 718	4. 01	
	地域インデックス	-	-	-	-	-	取りまとめ中
計		(延) 111 (実) 106	51, 512. 9	131, 381	23, 185, 173	14. 42	
5年産 そば 地域インデックス		-	-	-	-	-	

大 豆 ○ 被害概況：6月23日、7月1日から2日、6日の大雨により浸水・冠水被害を受け生育不良となった。

8月が高温少雨で推移したため、高温・乾燥ストレスにより、着莢数・着粒数が減少し、減収した。

そ ば ○ 被害概況：9月中の高温少雨により結実率が低下し減収した。

一部の地域でヨトウムシによる食害が発生した。中山間地域でイノシシ・シカによる倒伏及び食害が発生した。

(支 払)

項目 保険区分			支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
					保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
第 1	大 豆	半相殺	令和 年 月 日 -	円 -	円 /	円 /	円 /	円 /	円 /	%
		全相殺	R7. 3. 21	20, 164, 455						
	夏そば	全相殺	-	-						
	秋そば	全相殺	R7. 3. 21	3, 020, 718						
	そば 地域インデックス									
計				23, 185, 173	9, 364, 007	12, 802, 759	1, 018, 407	-	-	100. 0
第 1	5年産 そば 地域インデックス		-	-	-	-	-	-	-	-

5. 園芸施設共済関係

(引 受)

項目 区分		組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
		人	棟	m ²	円	円	円	円	円
ガラス室Ⅱ類		9	12	5,916	79,184,036	69,353,573	42,261	27,466	69,727
プラスチックハウス	Ⅱ 類 (パイプ)	1,170	4,238	867,130	3,261,421,796	2,797,585,123	23,899,152	7,424,554	31,323,706
	Ⅲ 類 (鉄骨下)	95	189	63,997	330,216,754	284,145,019	1,251,638	580,096	1,831,734
	Ⅳ類甲 (鉄骨中・軟)	33	65	36,055	344,420,847	305,929,560	526,654	328,374	855,028
	Ⅳ類乙 (鉄骨中・硬)	37	63	78,735	2,408,419,157	2,108,650,977	2,240,586	1,089,879	3,330,465
	Ⅴ 類 (鉄骨上)	9	17	6,114	70,946,216	64,118,309	25,833	10,810	36,643
	Ⅵ 類 (雨よけ)	7	10	3,797	15,556,462	13,970,951	109,508	24,056	133,564
計		(延) 1,360 (実) 1,252	4,594	1,061,744	6,510,165,268	5,643,753,512	28,095,632	9,485,235	37,580,867

△：納入保険料

○ 前年対比：引受戸数 104.4%

○ 引受概況：前年度に比べ引受戸数53戸、引受棟数211棟の増加であり、令和6年の有資格1,668戸に対して75.1%の加入率となった。

共済金額5,643,753千円の内訳は特定園芸施設3,758,241千円、附帯施設837,648千円、施設内農作物5,318千円、撤去費用

43,317千円、特定園芸施設復旧費用296,882千円、附帯施設復旧費用209,361千円、付保割合追加特約492,986千円であった。

(被 害)

項目 区分		被 害			損害の額	共 済 金						共 済 金 共済金額	
		組合員数	棟数	附 帯 施設数		特 定 園芸施設	附 帯 施 設	施設内 農作物	撤 去 費 用	復 旧 費 用	付保割合 追加特約	合 計	
ガラス室Ⅱ類		人 －	棟 －	基 －	円 －	－	円 －	円 －	円 －	円 －	円 －	円 －	% 0.00
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	Ⅱ 類 (パイプ)	60	76	3	9,845,003	7,010,265	384,530	152,620	208,706	96,360	1,135,546	8,988,027	0.32
	Ⅲ 類 (鉄骨下)	6	7	－	157,336	125,866	－	－	－	－	4,463	130,329	0.05
	Ⅳ類甲 (鉄骨中・軟)	3	3	－	364,567	291,652	－	－	－	－	38,193	329,845	0.11
	Ⅳ類乙 (鉄骨中・硬)	3	3	1	744,576	309,836	285,824	－	－	－	77,458	673,118	0.03
	Ⅴ 類 (鉄骨上)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0.00
	Ⅵ 類 (雨よけ)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.00
計		(延) 72 (実) 71	89	4	11,111,482	7,737,619	670,354	152,620	208,706	96,360	1,255,660	10,121,319	0.18

○ 被害概況：前年度に比べ被害棟数は1棟減少、共済金は2,502千円の減少となった。

事故種類別の被害棟数及び共済金は、雪害20棟4,970千円（49.0%）、風害58棟3,862千円（38.2%）、水害1棟153千円（1.5%）、
獣害2棟19千円（0.2%）、その他気象（落雷）3棟746千円（7.4%）、その他（外部からの接触）2棟38千円（0.4%）、
過年度事故は3棟333千円（3.3%）であった。

主な被害要因は、11月26日の強風及び2月4日～8日にかけての断続的な降雪であった。

(支 払)

項目 区分		実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
当年度分		円 9,788,335	円 3,346,283	円 6,442,052	円 -	円 -	円 -	% 100.0
過年度分		332,984	152,822	180,162	-	-	-	100.0
計		10,121,319	3,499,105	6,622,214	-	-	-	100.0

6. 任意共済関係

(1) 建物共済

(引 受)

項目 区分	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金			1棟当たり 平 均 共済金額	任意保険料	保険手数料	任意保険割合	保険手数料割合
			純共済掛金	賦課金	総額					
火災共済	棟 25, 658	円 287, 814, 870, 000	円 114, 695, 913	円 93, 600, 380	円 208, 296, 293	円 11, 217, 354	円 62, 490, 548	円 25, 255, 825	% 54. 5	% 22. 0
総合共済	5, 736	62, 502, 140, 000	125, 329, 404	44, 964, 440	170, 293, 844	10, 896, 468	73, 941, 602	14, 409, 437	59. 0	11. 5
計	31, 394	350, 317, 010, 000	240, 025, 317	138, 564, 820	378, 590, 137	11, 158, 725	136, 432, 150	39, 665, 262	56. 8	16. 5

- 前年対比：共済金額 98. 5%
- 引受概況：離農による農家数の減少などにより、加入棟数は火災共済で808棟の減少となったが、総合共済では自然災害への補償ニーズの高まりにより240棟の増加となった。

(事 故)

項目 区分	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)			任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)	備 考
			火災	風水害等	計			
火災共済	棟 166	円 350, 317, 010, 000	円 33, 007, 224	円 12, 139, 428	円 45, 146, 652	円 13, 543, 924	%	前年度に比べ事故棟数172棟減、共済金130, 010千円の減となった。
総合共済	205			55, 866, 515	55, 866, 515	21, 576, 815		
計	371		33, 007, 224	68, 005, 943	101, 013, 167	35, 120, 739	0. 03	

(原因別事故発生状況)

項目 事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)	備 考
雪 害	棟 68	円 350, 317, 010, 000	円 15, 245, 716	円 4, 573, 695	%	主な事故原因は、雪害が18. 3% 15, 245千円、地震が12. 1% 24, 084千円、風水害が10. 2% 7, 695千円、と自然災害（総合対象）による事故が全体の40. 7%を占めるほか、落雷の発生件数が37. 2% 12, 536千円であった。建物では落雷に次いで雪害が多く、その他では、車両の飛び込み：38件、建物の外部からの物体の落下等：22件、給排水設備の事故に伴う水ぬれ：8件、水道管凍結：4件、盗難によるき損又は汚損：1件であった。
落 雷	138		12, 536, 393	3, 760, 856		
風水害	38		7, 695, 480	2, 308, 628		
火 災	9		33, 007, 224	9, 902, 164		
地 震	45		24, 084, 674	12, 042, 319		
その他	73		8, 443, 680	2, 533, 077		
計	371	350, 317, 010, 000	101, 013, 167	35, 120, 739	0. 03	

(2) 農機具共済

(引 受)

区分 \ 項目	加入台数	共済金額	共 済 掛 金			1 台当たり 平 均 共済金額	備 考
			純共済掛金	賦課金	総額		
屋外型	台 4,494	円 21,201,340,000	円 59,073,628	円 24,927,377	円 84,001,005	円 4,717,699	
屋内型	711	1,345,460,000	2,265,755	393,037	2,658,792	1,892,349	
計	5,205	22,546,800,000	61,339,383	25,320,414	86,659,797	4,331,758	

○ 前年対比：共済金額 103.9%

○ 引受概況：前年度に比べ加入台数は19台の減少となったが、共済金額は845,820千円の増加となった。

(事 故)

区分 \ 項目	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)	備 考
屋外型	台 126	円 22,546,800,000	円 24,620,140	%	接触・衝突：85件、墜落：1件、異物の巻き込み：5件、火災：1件、自然災害：1件、物体の落下及び飛来等：9件、その他稼働中の事故：25件
屋内型	1		184,941		
計	127	22,546,800,000	24,805,081	0.11	

(原因別事故発生状況)

事故の原因別 \ 項目	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)	備 考
稼働中事故	台 125	円 22,546,800,000	円 24,104,656	%	前年度に比べ事故台数26件の減少、共済金25,829千円の減少となった。 主な事故原因は、接触・衝突事故が85台と全体の66.9%を占め、機種別では、トラクタとコンバインが71台と全体の55.9%を占めた。
自然災害事故	1		56,419		
火災等事故	1		644,006		
計	127	22,546,800,000	24,805,081	0.11	

(3) 保管中農産物補償共済

(引 受)

項目 区分	加入戸数	共済金額	共 済 掛 金			1戸当たり 平 均 共済金額	備 考
			純共済掛金	賦課金	総額		
	戸	円	円	円	円	円	
Aタイプ	4	8,000,000	14,000	6,000	20,000	2,000,000	Aタイプ： 8口 農産物：米
Bタイプ	1	1,000,000	4,550	1,950	6,500	1,000,000	Bタイプ： 1口 農産物：米
計	5	9,000,000	18,550	7,950	26,500	1,800,000	

○ 前年対比：共済金額 180.0%

○ 引受概況：収容農産物補償特約（建物共済）から変更した加入者があり、前年同期に比べ共済金額4,000千円の増額となった。

(事 故)

○ 事故概要：被害なし

7. 受託事業 収入保険

(引 受)

項目 区分		戸 数	基準収入金額	保険金額	積立金	加入者負担 保険料	加入者負担 積立金	1 戸当たり 平 均 基準収入金額	備 考
内 訳	個 人	1, 263	7, 438, 587, 895	5, 311, 595, 044	662, 281, 624	74, 059, 400	165, 570, 867	5, 889, 618	
	法 人	348	13, 263, 597, 276	9, 547, 447, 524	1, 188, 104, 794	118, 140, 410	297, 026, 322	38, 113, 785	
計		1, 611	20, 702, 185, 171	14, 859, 042, 568	1, 850, 386, 418	193, 199, 810	462, 597, 189	12, 850, 518	

○ 引受概況：顧客リストに基づき戸別訪問等による加入推進を実施した結果、令和6年度は1,611経営体となった。

(経営形態別・規模別内訳)

経営 形態	分類	1 ha 未満	5 ha 未満	1 0 ha 未満	2 0 ha 未満	2 0 ha 以上	分類別合計
個 人	水 田	戸 202	戸 414	戸 112	戸 114	戸 94	戸 936
	野 菜	120	84	8	2	1	215
	果樹・花き	61	34	6	3	－	104
	その他	3	4	－	－	1	8
個人計		386	536	126	119	96	1, 263
法 人	水 田	－	－	9	33	265	307
	野 菜	11	6	5	4	4	30
	果樹・花き	3	3	2	2	－	10
	その他	－	－	－	－	1	1
法人計		14	9	16	39	270	348
規模面積別合計		400	545	142	158	366	1, 611
割合 (%)		24. 8	33. 8	8. 8	9. 8	22. 7	

(令和5年支払)

項目 区分		戸数	保険金等支払額	保険金	特約補填金	1戸当たり 平均 保険金等支払額	備考
内訳	個人	509	314,546,247	149,591,669	164,954,578	617,969	引受戸数 1,201件
	法人	101	341,934,087	140,298,993	201,635,694	3,385,486	引受戸数 335件
計		610	656,480,334	289,890,662	366,590,272	1,076,197	引受戸数 1,536件

(経営形態別支払内訳)

経営 形態	分類	1ha未満		5ha未満		10ha未満		20ha未満		20ha以上		分類別合計	
		戸数	支払額	戸数	支払額	戸数	支払額	戸数	支払額	戸数	支払額	戸数(件)	支払額
個人	水田	85	6,785	166	39,045	49	27,493	40	44,917	18	34,527	358	152,769
	野菜	62	39,355	44	77,246	3	5,798	3	6,608	-	-	112	129,007
	果樹・花き	18	8,248	12	18,037	5	4,752	2	866	-	-	37	31,902
	その他	-	-	2	868	-	-	-	-	-	-	2	868
個人計		165	54,388	224	135,196	57	38,043	45	52,391	18	34,527	509	314,546
法人	水田	-	-	1	462	3	1,570	5	5,969	67	173,472	76	181,473
	野菜	2	1,428	4	35,382	4	18,370	2	12,112	3	43,468	15	110,759
	果樹・花き	2	3,940	2	24,815	2	1,733	-	-	-	-	6	30,487
	その他	1	303	-	-	1	800	-	-	2	18,113	4	19,215
法人計		5	5,671	7	60,659	10	22,473	7	18,081	72	235,053	101	341,934
分類別合計		170	60,059	231	195,855	67	60,516	52	70,472	90	269,580	610	656,480
割合(%)		27.9	9.1	37.9	29.8	11.0	9.2	8.5	10.7	14.8	41.1		

○ 被害概況：令和5年契約の1,536経営体の内、610経営体に保険金等支払い手続きを行い、支払額は6億5千万円となった。
米価下落の影響は緩和したが、地球温暖化による猛暑で野菜を中心に生育不良となり農業収入が減少した。